

# おいしーいがっこ

上川沿農産加工婦人部

## ◆きゅうりのからし漬け

### 材 料

|              |        |
|--------------|--------|
| ・きゅうり……………   | 5 kg   |
| ・塩……………      | 500 g  |
| ・焼ちゅう(35度)…… | 180 cc |
| ・こうじ……………    | 900 g  |
| ・砂糖……………     | 1 kg   |
| ・からし粉……………   | 450 kg |

### 〈作り方〉

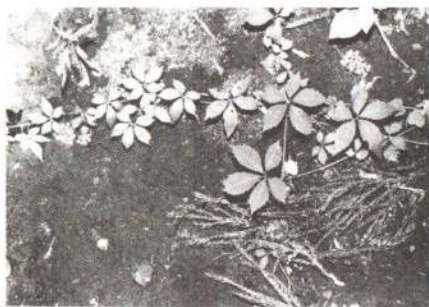
- ① からし粉を焼ちゅうで溶いておく。
- ② ①に塩、こうじ、砂糖を混ぜ合わせる。
- ③ 漬物容器に、②ときゅうりを交互に漬け込む。
- ④ 押しぶたをし、きゅうりと同じ目方の重石をのせる。

### 〈食べごろ〉

9月末ごろに漬けると一週間くらいで食べられ、正月ころまで良い。

### 〈注意すること〉

辛味をにがさないように、おけの中にビニール袋を敷いて漬け込み、きっちりと押しぶたをする。



▲アマチャツル

採取の時期は八月下旬から九月上旬の開花時が最適で、地上部から刈り取り、水洗い後乾燥する。薬効は、疲労回復、体力増強、健胃など広く効果があるとされており、さらに研究が進められている。

- (1) 葉は互生し通常五枚の小葉に分かれている。
- (2) 巻きづるは葉のつけ根と同じ側から出ている。
- (3) 葉柄、茎にはサラツキがなくつるつるしている。
- (4) 葉の両面にはまばらな白毛がある。

また全草には細毛が密生し、七月下旬から八月にかけて淡紅色または白色の五弁花をつける。採取は開花時期に地上部を刈り取り、水洗い後乾燥して風通しのよい所に保存する。

ゲンノシヨウコは便秘、下痢などに効果があるほか、昔から整腸剤として利用されてきている代表的な民間薬である。

全国各地の湿りのある林地に自生している性の多年草である。

今、話題の

## アマチャツル

利用部分(全草)

(花岡町神山  
元農業改良普及所長)

畠山 敏

## 身近な薬草

八月下旬から九月上旬にかけて黄緑色の小花を穂のようにつける雌雄異株の植物で、開花後はアズキ粒ほどの緑色がかった果実がつき、熟すると黒緑色を呈する。

またアマチャツルは、ヤブガラス(ブドウ科)、カナムグラ(クワ科)などに類似しているため間違われやすいが、判定の目安としては、



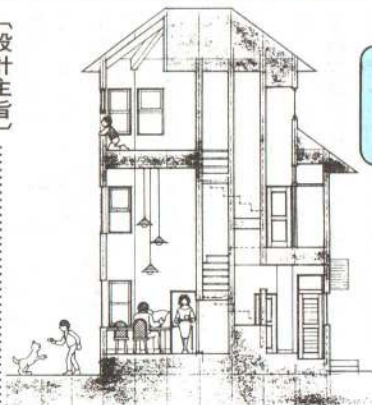
ゲンノシヨウコ  
利用部分(全草)

## 興そう伸ばそう 木目の美と香りの文化

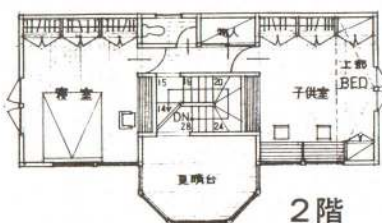
第1回木造建築設計コンペから⑤

## 見晴らし台のある家

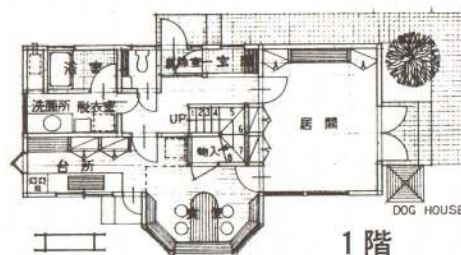
設計者 福岡 尚子さん(鷹巣町)



|       |         |
|-------|---------|
| 1階床面積 | 54.27㎡  |
| 2階床面積 | 54.27㎡  |
| 延床面積  | 108.54㎡ |
| 建築面積  | 54.27㎡  |



2階



1階

〔設計主旨〕  
DREAMER WOOD IN TOWER  
ひとりの少年(少女)がいる……。  
両親にしかられた時、兄弟とケンカした時、そして独りになりたい時、彼(彼女)は階段をかける。ほの暗い階段は、いつでも別の世界へのアプローチ。階段の先にはふりそぐ陽光が、あるいは鮮やかな夕焼けが、時には満天の星が彼を迎えてくれる。回りの家の屋根が見おろせるその部屋で、彼はひととき現実を忘れ星たちと対話する。ちやうど外国文学の中の少年や少女たちが、狭い屋根裏部屋でいろんな夢に思いをはせたように、彼もまた快い孤独の中にその身を浸して行く。

しかし、彼は決して孤独なのではない。さつき登った階段を、今度はゆっくり降りて行けば、家族の暖かな笑い声が待ちうける明るい空間に、いつでも自然に溶け込んでいけるのだ。その扉は、いつでも彼のために開かれているのだから……。

◆木造建築設計コンペについては

有浦5丁目木材会館内 木造建築設計競技事務局 ☎42-1124へ